

令和2年度 第2学期終業式式辞

みなさん、おはようございます。2学期も今日で終わりとなりました。一年間で一番長い学期が2学期ですが、今年は、夏休みが短かった関係で、6月から息つく暇もなく、走り続けた2学期になりました。

この間、皆さんは学校でそして家庭で、新型コロナウイルス感染症と闘いながら過ごしました。マスクをつけた学校生活、活動の度に行った手指消毒は本当に大変だったでしょう。皆さんは、それを当たり前のように実行しました。

『当たり前のことを当たり前にやりぬく力』が育っていることがよく分かります。もちろん、マスクや手指消毒だけでなく、授業前後の挨拶や話を聞く姿勢、課題に取り組む姿もそうです。『当たり前のことを当たり前にやりぬく力』となっています。

また、いろいろな行事に皆さんの成長を感じることができました。まずは、運動会。短時間の練習の中で、きびきびと動くことができました。全身を使って杉小っ子パワーを観覧席に届けた紅白応援合戦も忘れることができません。また『人間は負けたら終わりではない。諦めたら終わりなのである』の言葉を胸に、弱い心に打ち勝ったマラソン大会も、杉小っ子のたくましさを見せてくれました。今年は登山はできませんでしたが、6年生が楽しい遠足を計画してくれました。6年生の優しさに包まれて、みんな伸び伸びと楽しい一日を送ることができましたね。また、『ぽかぽかポスト』に君たちの温かな気持ちを一杯詰めることもできました。更に、自然学校や社会見学など校外学習では、説明をしっかりと聞いたりお礼の挨拶をきっちりと言えたりできました。

今話したことはすべて本年度の目標である、3つの子につながります。『強い子』『明るい子』『温かい子』に皆さんは着実に近づいていますよ。良かったですね。ここまで努力した114名の杉小っ子に拍手を送りたいと思います。

でもこれに満足せず、来年は更に高い目標に向かい努力しましょう。

さて、いよいよ冬休みが始まります。新型コロナウイルスに感染しないように十分に気をつけながら、家族そろって素敵な思い出を作ってください。

最後に、必ず守ってほしいことがあります。それは何よりも命を大切にすることです。そして、1月7日にはみんなそろって、笑顔で『あけましておめでとう』の挨拶をしましょうね。

では、良いお年をお迎えください。これで、校長先生のお話を終わります。

令和2年12月24日

多可町立杉原谷小学校長
吉田 重徳